



支社からの施策提案のお知らせ

2024年3月ダイヤ改正、

現業機関における柔軟な働き方の実現に向けた統括センターの設置

および武蔵野線・京葉線の乗務員基地再編について

【実施内容】

■輸送改善概要

①特急列車

- ・富士回遊 15・32 号を増発
- ・成田エクスプレス 3・7・50・52 号の中央線への直通を取りやめ新宿発着に変更

②中央快速線

- ・東京～大月間直通運転拡大(デertime 5 往復)

③中央列車線

- ・夜間時間帯 小淵沢～富士見間の運転間隔調整

④青梅・五日市線

- ・夕夜間時間帯 立川～武蔵五日市間直通列車の運転時間拡大

⑤八高線

- ・オフピーク時間帯(9 時台)に上り八王子行き列車を増発

■現業機関における柔軟な働き方の実現に向けた統括センターの設置について

- ・立川統括センターの設置
- ・豊田統括センターの設置および日野駅直営化による体制見直し
- ・八王子統括センターの設置

■武蔵野線・京葉線の乗務員基地再編について

- ・武蔵野運輸区の設置

■その他

- ・副長の役割を見直す
- ・大月営業統括センターにおける分割・併合作業を見直す

～提案時の議論～

○ダイヤ改正の目玉は？

・富士回遊増発が目玉。豊田車両センターの入出区作業見直しもある。

○なぜ日野駅直営化するのか？

・駅受諾会社のエルダー社員の退職が増え要員逼迫、総合的に勘案して豊田統括センターの一事業所とする。泊まり勤務2徹。豊田統括センターの出面数に含まれる。

○日野駅以外も今後あるのか？

・エルダー雇用の場としていたが、状況が変わってきている。委託を戻すのは非常に大きな体力を要する。

○本来委託先の企業努力でやるべきでは？

・あくまで一つの背景であり、東日本が会社として判断すること。個々に考えていくことである。

○副長の役割見直しの中身は？

・甲府統括センターでやっているが、柔軟に働くことを改めて記載した。相互運用等〇〇副長だから、これしかやらないという体制ではなく、色々出来る様にしていく。

○そのほか改正時の変更点は

・JETS 拜島構内作業が撤退、すべて本線入出区となる。

○武蔵野運輸区について

・東所沢駅の乗務員詰所を廃止し、運輸区に集約する。

運転士 日勤20行路 泊まり21行路

車掌 日勤20行路 泊まり17行路

京葉派出には、日勤 8 行路 泊まり9行路を移管する。

○統括センターWG で検討しているが、資料はいつ頃出るのか？

・各 WG でそれぞれ進めているが、進め方も各々違う。資料作成を強制していない。社員周知は必要だと認識している。

○ギリギリになったり必要な訓練が間に合わない事が無いよう支社としてある程度指導するべきでは？

・支社としても教育訓練は必要だと認識している。一体となってやっていく。早めというのは社員にとって必要だと認識する。

職場からの意見で働きやすい

職場を創りだそう！